



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和6年11月号

507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

10月になっても残暑が厳しく熱中症対策が必要でしたが、一気に肌寒い朝晩を迎えています。おかげで子どもたちは外で思いっきり遊んでいます。そんな様子をできる限りHPにアップしています。お時間があるときにご覧いただき、家族の話題の一つとなっただけであればと思います。

児童と家庭、地域の皆さん、学校職員の笑顔があふれる市之倉小学校となることを願っています。

「できた良さを糧に」

校長

今夏は10月11日(金)に行われた終業式で、私から児童に向けたメッセージを掲載します。

前期間、大過なくこられたのも保護者や地域の方々のご協力や見守りのおかげと感謝しております。この学校報が配布される頃、また少し成長している子供たちが目の前にいることを楽しみにしています。

前期、皆さんの笑顔がたくさん見られ、たのしい期間を過ごさせてもらえました。ありがとうございました。

いちのくら体育参観では、自分の競技に全力で取り組んだり、仲間を一生懸命応援したり、ほかの学年の踊りも自分のテントの下で一緒に楽しそうに踊ったり、笑顔に加えて一生懸命に頑張る「いちのくら」の子、を見せてもらえました。

いろいろ学校の外に出かけていく行事もたくさんありました。そこではみんながしっかり挨拶ができることがうれしかったです。バスの運転手さん、施設や係の人、だれに対してもはっきり目を見て挨拶ができる子がとても多くて、あいさつをされた人も笑顔でした。あいさつができる「いちのくら」の子を見ることができました。

ただ、「頑張っていないいちのくら」もあったのも確かです。昨日も図書館の使い方がよくないよ、とか、トイレの使い方がおかしいよという悲しい放送がありましたね。これらは見たり聞きたりしたくない「いちのくら」です。でも、それは見ないように聞かないようにするのはではなく、見たら、聞いたらすぐ消していけばよいことです。変化して、成長できれば問題ありません。昨日、廊下を歩いていたら、トイレの前を通りかかった子が、「も～、グチャグチャやん」と呟きながらさっとスリッパをそろえてくれる子がいました。5年生のAさんです。直す必要がないことが一番ですが、誰かがミスをしたときにこうやって直してくれる子がいるというのは、本当に安心です。

今日の通信表「そだつ子」もおなじです。1年生の子は、市之倉小学校ではじめてもらう通信表ですね。この前期に勉強や運動がどれだけできたのか、また心がどうだったのかが書かれています。校長先生は、みなさんに渡す前の通信表を担当の先生から見せてもらいました。

担任の先生が見つけたみなさんの「良さ」とみなさんの「よい行い」、または苦手なことが○で表してありました。今回は、できたか、できなかったかですが、次3月にもらうときは「どれだけできるようになったか」が大事です。今日の通知表をしっかり見て、来週からできなかった、苦手だったを「成長出来た!」に変えていってください。

最後に6年生の皆さん、あなたたちには次の終業式でお話することはできません。つぎの終わりの式は「卒業式」です。市之倉小学校の最後の半年間を精一杯過ごし、楽しい思い出をたくさん作り、そして後輩たちがあこがれ、手本となって卒業していくことを期待しています。前期、なかなか頼もしくて良かったですよ。よろしくお祈りします。

では皆さん、来週からの新学期、ちょっと決意を固めて、少し新しい顔で会いましょう。

